

KEYWARE
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社
東証第二部 3799

IT can create it.

2015年3月期

決算説明資料



※ 本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

※ 掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

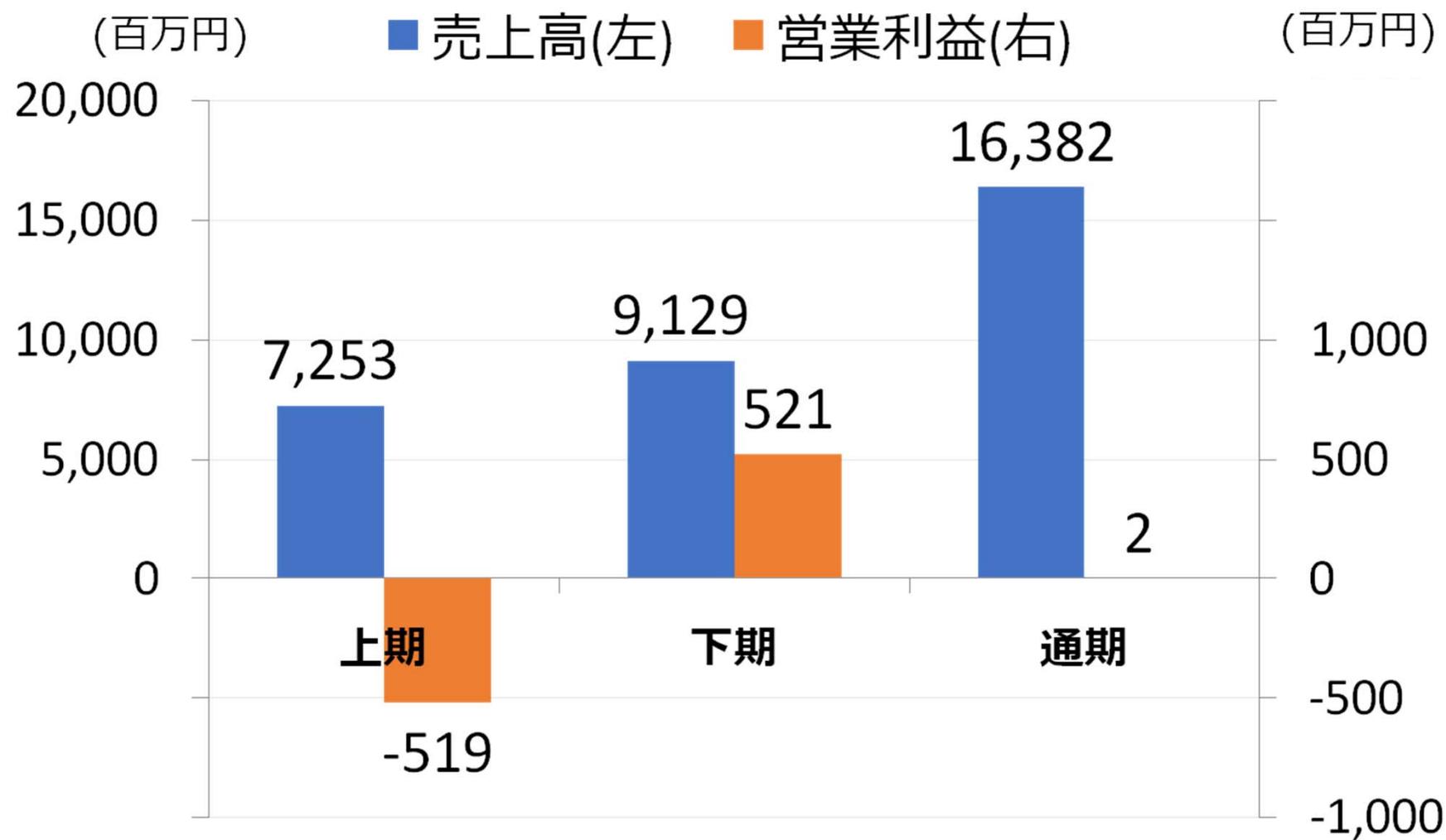
2015年3月期 実績

前年同期比で減収減益

(単位：百万円)

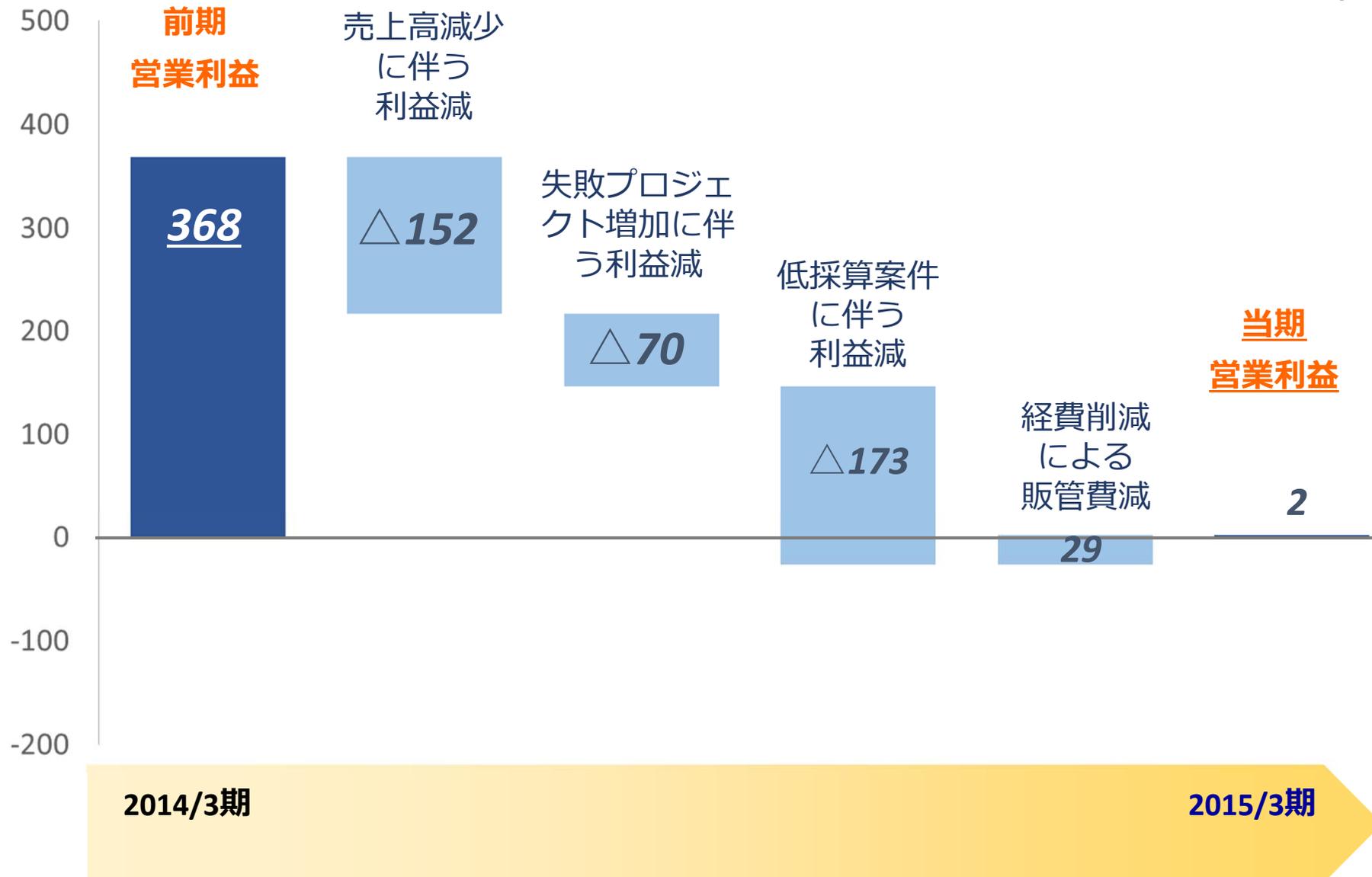
	2014年3月期	2015年3月期	前年同期比 (%)
売上高	17,200	16,382	△4.8
営業利益	368	2	△99.4
経常利益	367	65	△82.1
当期純利益	240	△78	—

上期・下期の業績推移



営業利益変動要因

(単位：百万円)

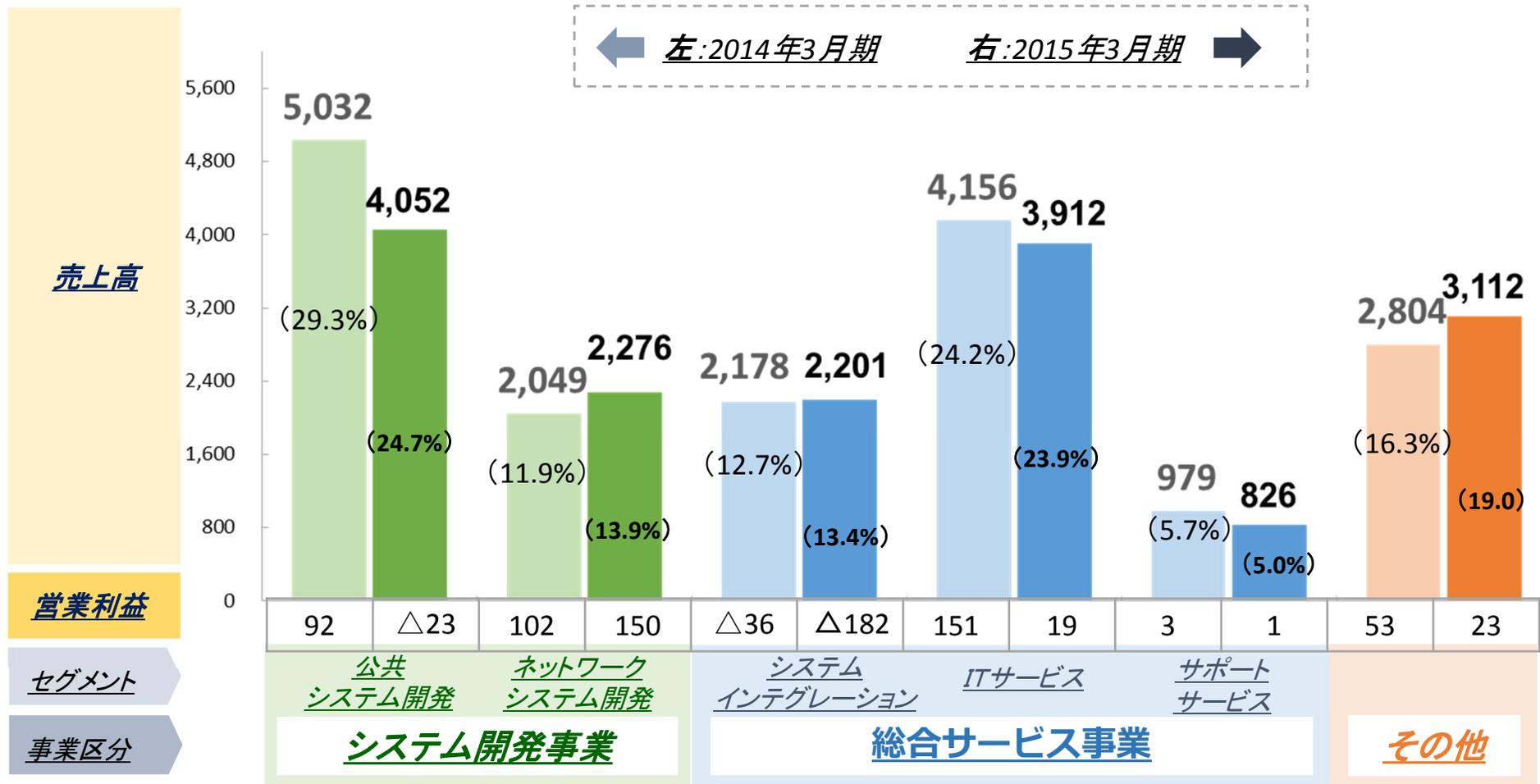


2014/3期

2015/3期

事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

(単位：百万円)



* 上記の業績数値は、セグメント間で発生した取引を除いた売上高を記載。

* 「その他」: 報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、拠点として地域性をもち独立した経営単位のセグメント、および機器販売等

B/Sハイライト（連結）

(単位:百万円)

	2014年 3月末	2015年 3月末	増減額
流動資産	5,433	5,533	100
固定資産	3,990	4,040	49
資産合計	9,424	9,574	150
流動負債	2,418	2,878	459
固定負債	1,240	901	△338
負債合計	3,659	3,780	121
純資産合計	5,764	5,793	28
負債・純資産合計	9,424	9,574	150

2015年3月期下期 主な成果と取り組み

パートナー型 ビジネス

- Open Monitor(設備・ネットワーク監視システム)の販売が好調

プライム型 ビジネス

- 産業資材会社向けBizfによる基幹システム導入支援
- 経営コンサルタント会社からSAP案件受注
- 生命保険会社の顧客管理システム改修プロジェクトへの参加

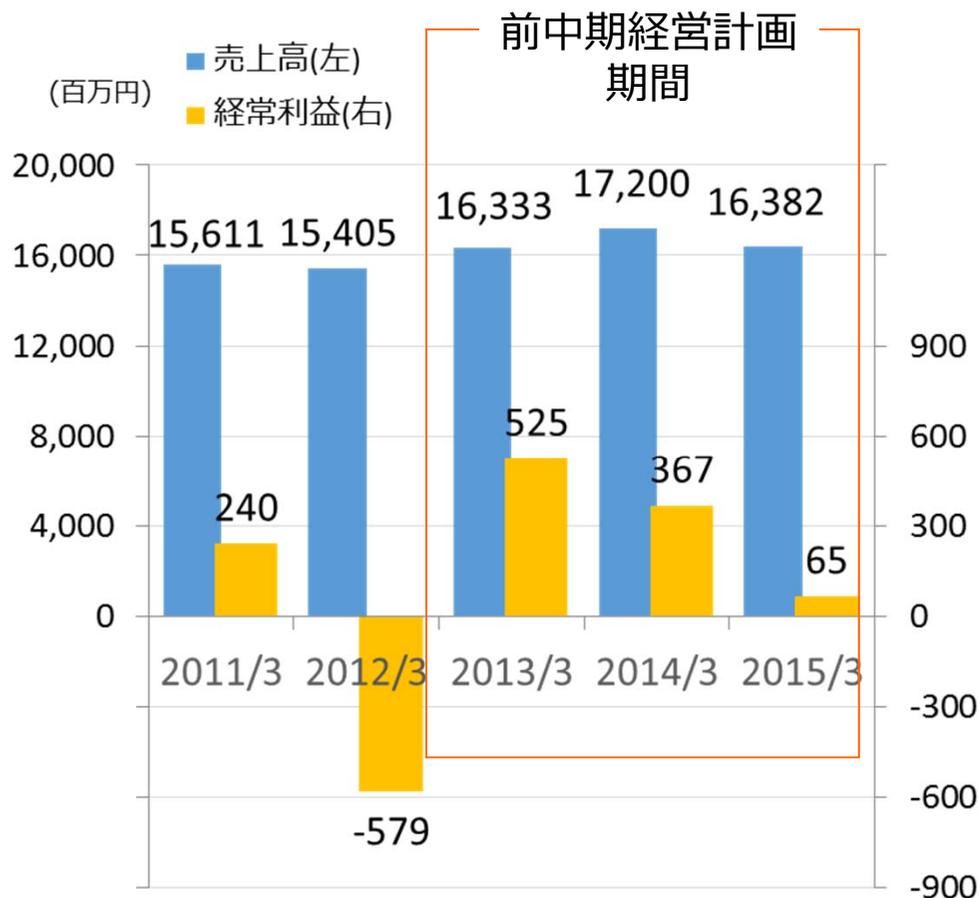
サービス提供型 ビジネス

- シンクライアント用仮想USBデバイス統合管理ソフト「VUMS」の受注が堅調、金融機関等より受注
- 農業ICTソリューション「OGAL(オーガル)」シリーズの販売開始
- アグリプラットフォームコンソーシアムに参画

パートナー型ビジネス : 社会インフラを支える企業からの受託開発を中心としたビジネス
プライム型ビジネス : 主に企業・官公庁を対象としたビジネス
サービス提供型ビジネス : 利用者の多様なニーズに応えるサービスを提供するビジネス

新中期經營計画

業績推移



中計成果

新分野への進出・事業領域の拡大が進む

- 流通業向けシステム開発への進出
- スマートアグリ領域開拓
- ヘルスケア領域開拓
- セキュリティ関連製品拡充
- 東北地域のビジネス開拓

課題

- 売上高、利益目標の未達
- パートナー型ビジネス(※)の依存度が高い

※ パートナー型ビジネス：社会インフラを支える企業からの受託開発を中心としたビジネス

システム開発市場は成熟化も、新たな事業機会は拡大

短・中期トレンド

- ◎ マイナンバー制度、消費税増税などの安倍政権の政策にかかわるICT投資
 - ◎ 東京オリンピック開催に向けたインフラ投資の拡大
- ➡ **ビジネスチャンスとIT人材の慢性的不足**

長期トレンド

- ◎ 高機能モバイル端末の一般化
- ◎ ハードに依存しないICTテクノロジーの登場
- △ 大企業向け受託開発市場の成熟、大型案件の減少

ソーシャルネットワークの発達

ハードに依存しないICT
テクノロジーの登場

高機能モバイル端末の
一般化

ビジネスチャンスの創出

O2Oビジネス、ダイバーシティへの対応、
環境問題

↓ 一方で

サイバーテロ、セキュリティ問題、デジタルデバイド等

これまで50年間当社が培ってきた
ビジネスモデル



ICTビジネスの変化



長期Vision

セグメント変更について

本年度より事業セグメントを見直し

<旧セグメント>



<新セグメント>



次の50年を見据えた「中期経営計画2015」

長期的基本方針

- 既存事業の収益性向上と安定化
- ポートフォリオの多様化
- 経営基盤の整備、改革

■ 既存事業

システム開発事業

■ 顧客軸から業種・業務軸への転換

- ・ 特定の業種に強みを持ち、付加価値の高い事業を展開
- ・ プロジェクト案件を見直し、収益性の高い案件にリソースをシフト

SI事業

■ ERP事業における売上高、利益額の拡大

- ・ SAPビジネスの拡大、およびBizf、IFSの活用推進
- ・ コンサルティングファームとの連携推進
- ・ マイナンバー制度から派生するビジネスの取り込み
- ・ 他企業との連携推進 (例 地方観光時事業の支援、ARの提供等)

■ フロンティア事業(新規事業)

スマートアグリ



ヘルスケア・医療



➡ 新しい技術と組み合わせることで、
新たなビジネスチャンスを創出

■ 経営基盤の整備、改革

● プロジェクト横断機能の更なる強化

- ・ プロジェクト管理の徹底
- ・ 精緻なコスト管理

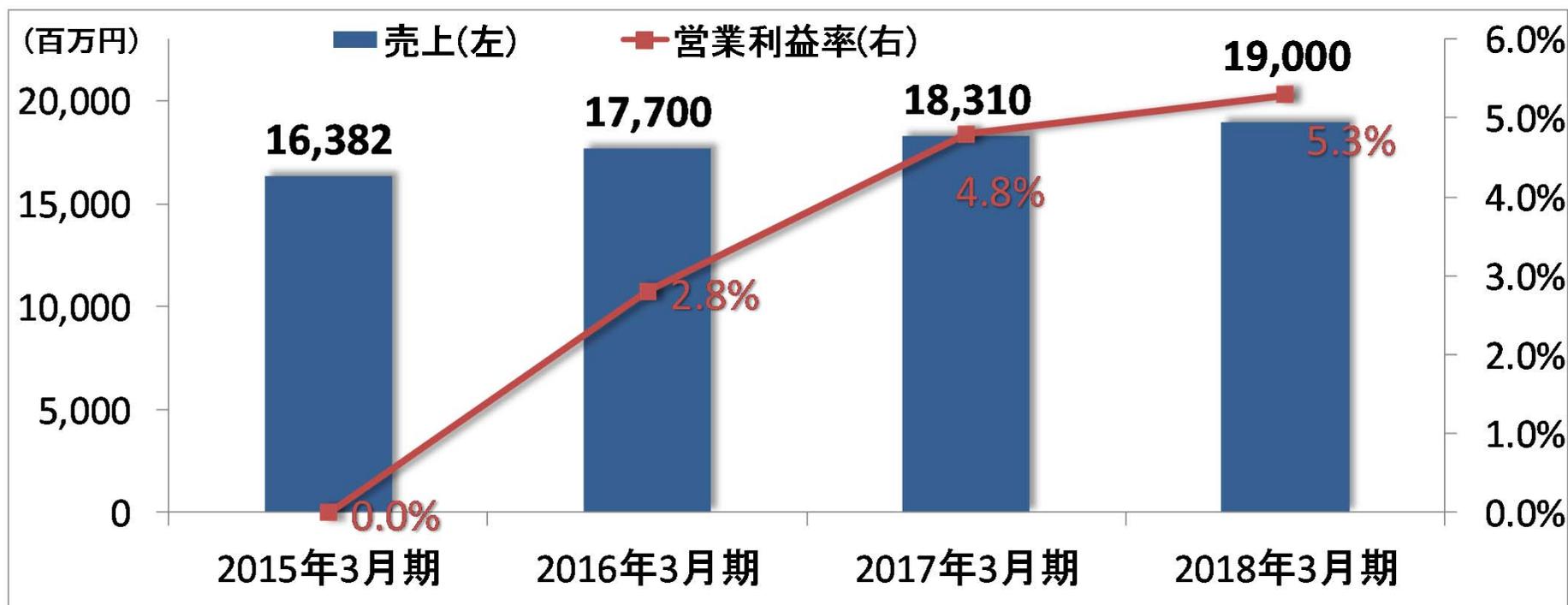
→横串をさした組織体制の強化

● 社員の“活カアップ”

- ・ 社員参加型経営改善活動 ⇒ IKI²！プロジェクト
- ・ ワークライフバランス改善

中期経営計画 数値目標（連結）

収益力の改善と強化をめざす



	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
売上(百万円)	16,382	17,700	18,310	19,000
営業利益(百万円)	2	500	880	1,000
営業利益率(%)	0.0%	2.8%	4.8%	5.3%

2016年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期 (予想)
売上高	17,200	16,382	17,700
営業利益	368	2	500
経常利益	367	65	420

CSR（社会・環境活動への取組み）

社会や顧客に信頼されるとともに成長を期待される企業へ

1 社会や顧客に対し、最適な商品やサービスを提供し、そのために常に先端技術の探求と普及に努めてまいります。

2 上場企業として社会的責任を十分に認識し、積極的にコンプライアンス（法令順守）を推進いたします。



御清聴いただきありがとうございます



お問い合わせ

E-Mail: ir@keyware.co.jp

TEL: 03-3306-3799

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

用語説明

IoT

：モノのインターネット（Internet of Things : IoT）

コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、あらゆる「モノ（Things）」がインターネットで相互につながり、情報を活用する技術や仕組み。

AR

：拡張現実(Augmented Reality)

コンピュータの技術を使って、実際の環境から視覚や聴覚、触覚などの知覚に与えられる情報に情報を追加あるいは削減、変化させる技術の総称。

O2O

：Online to Offlineの略。ネット上（オンライン）から、ネット外の実地（オフライン）での行動へと促す施策のことや、オンラインでの情報接触行動をもってオフラインでの購買行動に影響を与えるような施策のことを指す。

參考資料

会社概要

社名	キーウェアソリューションズ株式会社		
事業内容	1. システム開発事業 (アプリケーションシステムの構築に関する業務、および、インフラ関連のシステム開発に関する業務) 2. 総合サービス事業 (システムインテグレーション業務/サポート・サービス業務/販売業務/パッケージ業務)		
代表者名	代表取締役会長	村上 優	
	代表取締役社長	三田 昌弘	
設立	1965年5月		
資本金	17億37百万円		
売上高	163億円 (2015年3月期・連結)		
従業員数	1,084名 (2015年3月末現在・連結)		
主要法人株主	・ 日本電気株式会社 (35.02%) ・ 株式会社ジェイアール東日本情報システム (2.63%) ・ 日本ヒューレット・パッカード株式会社 (2.63%) ・ 株式会社三井住友銀行 (1.10%) ・ 住友生命相互保険会社 (1.10%) (2015年3月末現在)		
連結子会社	キーウェアサービス株式会社 キーウェア北海道株式会社 キーウェア西日本株式会社 キーウェア九州株式会社 株式会社クレヴァシステムズ		

企業理念

事業領域

情報技術に関する全てを事業領域とします。

企業風土

個人の個性と能力を発揮する事に価値を置きます。

社会的役割

創造性に富んだ情報技術によってお客さまの要求を超えたソリューションを提供し、お客さまの夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。

企業スローガン

I T c a n c r e a t e i t .
クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

沿革

Phase1

技術者派遣、受託開発で実績と評価を獲得

- 1965年 コンピュータの総合コンサルティング会社として日本電子開発株式会社設立
- 1974年
 - ・事務処理ソフトウェアモジュール技術研究代表組合理事となる
 - ・宇宙開発事業団試験ロケット打ち上げをソフト部門で支援協力、宇宙開発分野でのソフトウェア開発事業を確立
- 1988年
 - ・SI企業（第1期認定企業）として通商産業省より認可

Phase2

総合サービスによる高付加価値事業へ

ロータス、SAPジャパンなど最新技術を持つテクノロジーパートナーと協業を開始

- 1991年
 - ・ヘルプデスクサービス事業を開始
- 1994年
 - ・ソリューションセンターを開設しオープンシステム技術開発・蓄積に取り組む
 - ・ロータスノーツなどのISV認定技術教育事業の開始
 - ・SAPジャパン社との協業により、ERP（R/3）事業立上げ
- 1995年
 - ・フィールドサービスセンターを設置し、コンピュータ保守事業を立上げ
 - ・社内のメール/情報共有環境としてロータス・ノーツ 導入開始

Phase3

ITソリューションプロバイダーとして更なる進化

ISO9001、プライバシーマーク、ISMSを業界の先駆けとして、認証取得し、他社をコンサルティングできる体制を確立

- 1999年
 - ・品質マネジメントシステム（ISO9001）を全社で認証取得
 - ・SAP R/3自社導入
- 2000年
 - ・プライバシーマーク制度認証取得
 - ・三菱商事、ジェイアール東日本情報システム、日本HPより 資本参加を受けパートナー関係強化
- 2001年
 - ・社名をキーウェアソリューションズ株式会社に変更
 - ・SAPジャパンより、SAP AWARD OF EXCELLENCE 4年連続受賞
 - ・キーウェアサービス(株)設立
- 2002年
 - ・情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（本社）
 - ・キーウェアマネジメント(株)設立
- 2003年
 - ・情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（グループ全体）
 - ・キーウェア北海道(株)、キーウェア西日本(株)、キーウェア九州(株)設立

Phase4

IT新時代むけた積極的な取り組み

IT新時代に向け、異業種とパートナー契約を締結

- 2003年
 - ・NTTドコモ ソリューションマーケティングパートナー契約締結
- 2004年
 - ・アイ・ティ・フロンティアと共同で中国でのSAP R/3アドオン開発開始
 - ・日本電気 UNIVERGEアプリケーションパートナー認定取得・EAコンサルティング事業開始
- 2005年
 - ・日本電気 UNIVERGEセールスパートナーダイヤモンド認定取得
 - ・keyCOMPASS事業開始
 - ・IP電話事業開始
 - ・IDSシェア・ジャパン ARIS PPMパートナー企業
 - ・環境マネジメントシステム（JISQ14001：2004（ISO14001：2004））認証取得
- 2006年
 - ・ジャスダック証券取引所に株式を上場
 - ・資本金を17億37百万円に増資
- 2007年
 - ・「GO-Global」を利用した新世代シンクライアント・ソリューションの提供を開始
 - ・IT業界向け人材派遣事業をスタート
- 2008年
 - ・東京証券取引所第2部に株式上場
 - ・株式会社クレヴァシステムズを子会社化
- 2009年
 - ・東京証券取引所ディスクロージャー新人賞を受賞
- 2010年
 - ・株式会社NTTデータイントラマートとBizJソリューション販売に関する特約を締結
 - 「BizJ AWARD 2010 秋」「Excellent Project Partner's Award」を受賞
- 2011年
 - ・日本オラクル株式会社と「Oracle Exadata Database Machine」導入コンサルティングサービスで協業開始
 - ・IFSジャパン株式会社とビジネスパートナー基本契約締結
- 2012年
 - ・「キーウェアマネジメント株式会社」を吸収合併
 - ・東北支店を開設
- 2015年
 - ・札幌、大阪、福岡に営業所を開設